

第5章 景観計画の区域

【 景観法 第8条 第2項 第1号 】

1. 景観計画区域

2. 景観計画区域の区分

3. 風景区域

4. 各風景区域の景観要素

- (1) 軸・縁・集中点・ランドマークの分類
- (2) 地域の分類

第5章 景観計画の区域

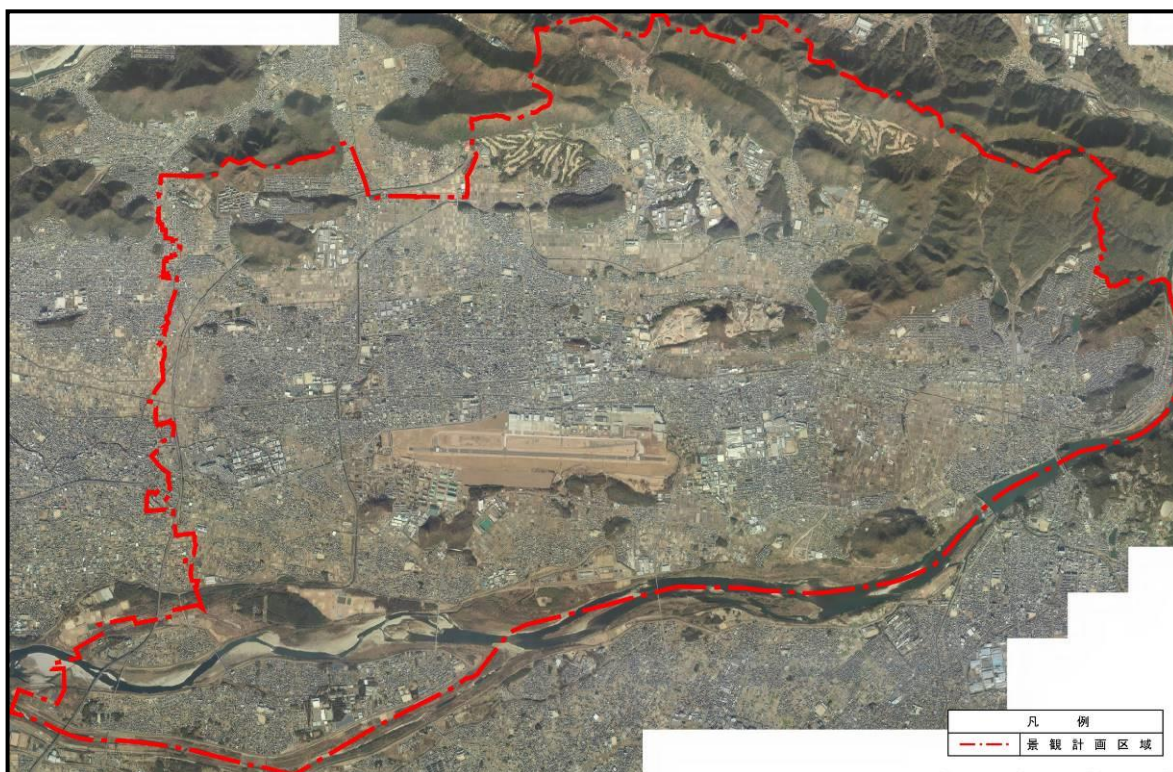
【 景観法 第8条 第2項 第1号 】

1. 景観計画区域

各務原市全域を対象に景観行政の各種施策に関する事項を定めた各務原市景観条例（平成16年条例第46号）を平成16年10月1日に公布し、平成17年9月30日には全面施行してきました。更に、市全域を対象とした各務原市景観基本計画を平成17年7月に決定してきました。

こうしたこれまでの市全域を対象とした景観施策の経緯を踏まえ、今後も市全域で良好な景観の形成の推進をしていく必要があると考え、景観法第8条第2項第1号に規定する景観計画区域は市全域【図5-1：景観計画区域】とします。

【 図5-1：景観計画区域 】



2. 景観計画区域の区分

市内には様々な種類の景観資源が存在し、加えて様々な土地利用がされているのが現実です。そのため、景観計画区域を市全域としますが、市全域を一律の方針や行為の制限を課すことは現実的ではありません。従って、市内の景観特性や土地利用の現況を考慮して景観計画区域を区分し、それぞれの区域ごとに地域の特性を活かすために必要な事項（方針や行為の制限）を定めていくこととします。ここでは、まず景観計画区域の区分の基準（方針）を示します。

区分の基準（方針）

- 田園景観、自然景観、市街地景観というそれぞれ個性ある景観が存在していることから、それらの個性ある景観を独立した区域として扱います。

- 社寺仏閣など、歴史的景観は古くからの農村内に多く存在していることから、歴史的景観と田園景観と一体的に扱います。

- 北部の山並みや独立峰などの山と、木曽川や新境川などの川という個性・特徴を持った景観要素が存在し、これらは独自の自然景観を構成していることから、個性ごとに独立した区域として扱います。

- 市街地景観は多くの市民にとって、もっとも日常的かつ身近に接するものです。この中でも特に市民に印象深い地域については、市街地景観の中でも独立した地域として扱います。



風情ある小路（徳山旗本陣屋公園周辺）



豊かな水辺と緑（河跡湖）

3. 風景区域

2. 景観計画区域の区分 に示した基準に従い景観計画区域を区分します。なお、区分した区域は風景区域と呼称します。【図5-2：風景区域図】

さらに、ここでは基準に従い区分した各風景区域のテーマを定めます。

名 称	区 域	区域のテーマ
森の風景区域	市街化調整区域と その周辺の市街化区域 ※ 川の風景区域と農業振興地域を除きます。 ※ 農業振興地域図 P65参照	丘陵地の緑の保全と調和
川の風景区域	川島地区と木曽川沿岸の区域	木曽川等の自然景観の 保全と調和
田園と歴史の 風景区域	農業振興地域に各務山を 加えた区域	田園景観と歴史的景観の 保全と再生
まちの風景区域	概ね那加地区、蘇原地区、 鵜沼地区の市街化区域 ※ 特に市民にとって印象深いエリアは、 “まちの顔”として位置づけます。	潤いに満ちた市街地景観 の形成



河岸段丘の緑（鵜沼地区）



低層住宅団地（鵜沼地区）

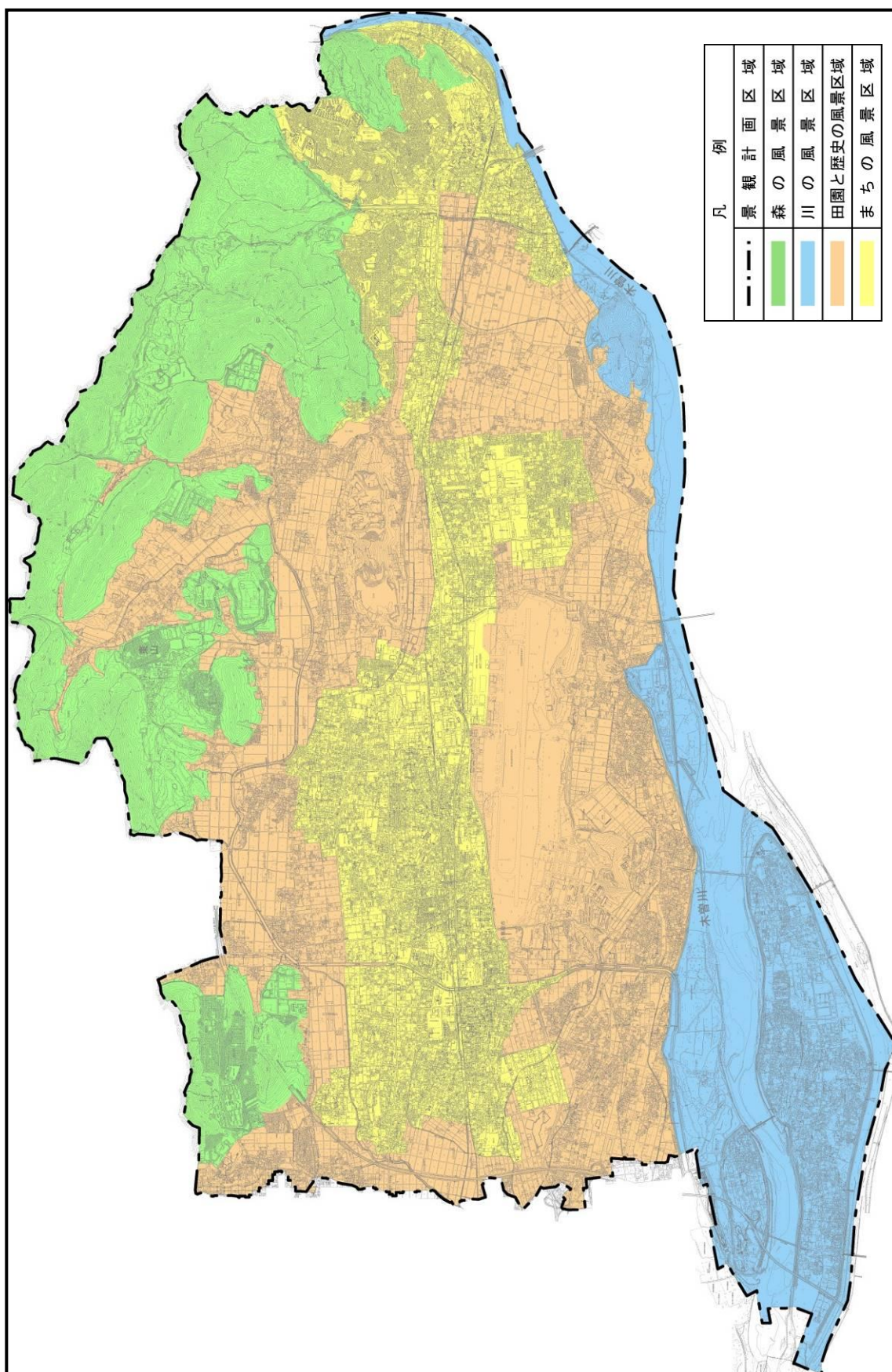


北部の山並みと田園地域（蘇原地区）



おがせ池と天野山

【図5-2：風景区域図】



4. 各風景区域の景観要素

(1) 軸・縁・集中点・ランドマークの分類

5つの景観要素（第2章 景観構造の現況 1. 景観構造：P7～12）のうち、軸、縁、集中点、ランドマークについて特に重要な景観要素を風景区域別に分類し整理すると以下のようになります。

	軸	縁	集中点	ランドマーク
森の風景区域	東海北陸自動車道、国道21号、(主)江南関線、(主)川島三輪線などは森の風景区域を縦横断して市内外を結ぶ重要な景観要素です。	北部の山並み、権現山などの独立峰は森の風景区域と他の風景区域の境界となる重要な景観要素です。	各務野自然遺産の森、蘇原自然公園などは森の風景区域の中において自然と触れ合うために人々が集まる場であり、重要な景観要素です。	権現山や船山などの独立峰、日本ラインうめまの森は重要な自然的景観要素です。この他、貞照寺やテクノプラザは、森の風景区域と調和した重要な景観要素です。
川の風景区域	東海北陸自動車道、(主)江南関線、新鵜沼駅前通りなどは川の風景区域を縦横断して市内外を結ぶ重要な景観要素です。	木曽川や伊木山は川の風景区域とその他の風景区域の境界となるとともに本市と愛知県の境界ともなっている重要な景観要素です。	川島市民サービスセンターは川の風景区域内に存在する川島地区の中心的存在です。また、河川環境楽園は新しい景観要素で、市内外の人が訪れる場所であり、重要な景観要素です。	近年、138タワーや河川環境楽園の観覧車などの新しい景観要素が加わりました。また、各務原大橋や愛岐大橋、ツインブリッジは川の風景区域を縦断し、人々の目に入る重要な景観要素です。
田園と歴史の風景区域	おがせ街道や(主)芋島鵜沼線は古くから田園と歴史の風景区域を横断する景観要素であり、国道21号、いちよう通り、2本の鉄道は市街地や市外と田園と歴史の風景区域を結び多くの人が利用する重要な景観要素です。	各務山などの独立峰、河岸段丘、新境川などは田園と歴史の風景区域内の景観の細やかな変化(地形の変化など)となる重要な景観要素です。	岐阜かかみがはら航空宇宙博物館は市の代表的な観光施設として市内外から多くの人が訪れる重要な景観要素です。	独立峰は田園と歴史の風景区域に多く存在する重要な景観要素です。また、加佐美神社、村国神社は本市の貴重で歴史的意義を持つ重要な景観要素です。
まちの風景区域	国道21号、(主)江南関線、いちよう通り、2本の鉄道はまちの風景区域内で多くの人々が利用する重要な景観要素です。	航空自衛隊岐阜基地は、まちの風景区域と田園と歴史の風景区域との境界となる重要な景観要素です。	旗本徳山陣屋公園は歴史的背景をもつ憩いの場として、イオンモールなどの大型商業施設は多くの市民が買物を楽しむために集まる景観要素です。六軒駅や三柿野駅などの鉄道駅は、多くの鉄道利用者が乗降する重要な景観要素です。	新加納一里塚は本市の貴重で歴史的意義を持つ重要な景観要素です。
	《まちの顔》 国道21号、那加メーンロード、いちよう通り、(主)江南関線、新鵜沼駅前通りは、それぞれまちの顔の中での移動の中心的地所となる景観要素です。	《まちの顔》 大安寺川は鵜沼地区の市街地景観に細やかな変化をつけるまちの顔における景観要素です。	《まちの顔》 市役所、市民会館などはまちの顔における公共の景観要素であり、市民公園や学びの森は市街地における憩いの場として市民が集まる重要な景観要素です。また、名鉄新鵜沼駅、JR鵜沼駅や名鉄各務原市役所前駅は、鉄道における市の玄関口として重要な景観要素です。	《まちの顔》 川崎山や鵜沼城址、犬山城への眺望はまちの顔において身近に存在する本市の個性を現す重要な景観要素です。

(2) 地域分類

5つの景観要素（第2章 景観構造の現況 1. 景観構造：P7～12）のうち、土地利用の現況から地域をさらに細かく分類【図5-3：景観単位図】し、風景区域別に分類し整理すると以下ようになります。

【図5-3：景観単位図】

